

# 令和元年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：水辺再生課  
 担当名：ダム管理担当  
 内線：5142

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B9	社会資本整備総合交付金（河川）事業費（水辺）			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	社会資本整備総合交付金（河川）事業費		
事業期間	平成22年度～	根拠法令	河川法第9条、第17条、第60条、第66条			宣言項目				
						分野施策	020518 治水・治山対策の推進			
<b>1 事業の概要</b> 遊歩道として利用できる河川管理用通路や水辺に近づくことができる親水護岸等の整備を行うことで、河川とまちが融合した良好な空間を形成することを目指す。 ダム管理施設を適宜、適切に維持管理・更新していくために、計画的に整備を実施する。  国庫支出金の内定に伴う所要の補正 (1) 河川環境整備事業 31,800千円 (2) 堰堤改良事業 13,945千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 河川環境整備事業 遊歩道として利用できる河川管理用通路や水辺に近づくことができる親水護岸等の整備を行い、河川とまちが融合した良好な空間を形成することにより、河川環境の改善を図る。 ・綾瀬川（管理用通路整備） 31,800千円  イ 堰堤改良事業 ダム管理施設を適宜、適切に維持管理・更新していくために計画的に整備を実施する。 ・有間ダム貯砂ダム詳細設計 13,945千円  (2) 事業計画 ア 令和4年度 完了 : 綾瀬川  イ 長寿命化計画に基づきダムの堰堤改良事業を実施  (3) 事業効果 ア 良好な河川空間を形成することで、県民の河川環境への意識の向上を図る。  イ 貯砂ダムを築造することにより、土砂をダム湖内へ流入する前に捕捉でき、堆積した土砂を容易に掘削して搬出することができるため、効率的・効果的な堆砂対策が図られる。						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (1) 河川環境整備事業〔(国1/3・県2/3)〕 (2) 堰堤改良事業 [有間ダム(国26.6%・県39.8%・企業局14.4%・飯能市19.2%)]										
<b>3 地方財政措置の状況</b> 河川事業債（一般公共事業債） 充当率 90%（通常分50% 財対分40%）										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> (1) 事業に係る人件費 9,500千円×2.5人=23,750千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入	県債						
決定額	45,745	14,304	4,685	26,000				756	294,356	
現計額	248,611	79,696	11,760	157,000				155		